

会議結果について

平成22年第4回市議会定例会は12月7日招集され、会期を12月16日までの10日間と定め、一般質問は12月13、14日の2日間、7名の議員より市の行政全般にわたり行われたほか、議案等22件の審議を行いましたので、その内容についてお知らせします。

□補正された予算

平成22年度一般会計予算に2億4千545万5千円が追加され、総額で157億1千457万9千円となりました。追加された内訳は次のとおりです。

○総務費	56万8千円
○民生費	9千98万6千円
○衛生費	1千606万5千円
○農林水産業費	894万9千円
○商工費	1億2千500万円
○教育費	388万7千円

このほか、国民健康保険事業特別会計についても予算補正が行われました。

□決算の認定

平成21年度紋別市各会計の決算については、平成22年第3回定例会で決算審査特別委員会を設けて、閉会中継続審査を行ってきましたが、本定例会で認定されました。

□可決された主な条例

◆紋別市私債権の管理に関する条例の制定

私法上の原因に基づいて発生した市の債権の管理に関する事務の処理について、統一的な取立て・猶予・免除・放棄の基準など必要な事項を定めることにより、公平・公正、効率的な私債権管理を行うため、本条例が制定されました。

◆紋別市立学校設置条例の一部改正

紋別市立沼ノ上小学校及び紋別市立中渚滑小学校の廃校に伴い、所要の改正が行われました。

◆紋別市都市公園条例の一部改正

オホーツク流氷公園の指定管理者制度導入を図るため、所要の改正と条文中の文言の整理が行われました。

□条例以外の議案

◆滝上町の旅券交付申請及び交付に関する事務の受託

◆興部町の旅券交付申請及び交付に関する事務の受託

◆西興部村の旅券交付申請及び交付に関する事務の受託

◆雄武町の旅券交付申請及び交付に関する事務の受託

西紋各町村が北海道から権限委譲を受ける旅券交付申請及び交付に関する事務について、紋別市が当該事務を各町村から受託することについて可決されました。

◆公の施設の指定管理者の指定

○紋別市総合福祉センター

平成23年4月1日から5年間、紋別市総合福祉センターの指定管理者に社会福祉法人紋別市社会福祉協議会が指定されました。

○紋別市氷海展望塔 外

平成23年4月1日から5年間、紋別市氷海展望塔、オホーツクとっかりセンター、海洋公園（休憩所・

駐車場・人工海水浴場・便所・シャワー棟・運動広場・イベント広場)、紋別市海洋交流館の指定管理者にオホーツク・ガリンコタワー株式会社が指定されました。

◆財産の取得

北海道によるまちなか道営住宅の建設に伴い、道営学園団地(落石町4)の一部を市営住宅として取得することが可決されました。

□人事

◆市政功労者の表彰

紋別市市政功労者表彰条例による平成22年の市政功労者として、次の方々を表彰することに決まりました。

千葉 好弘(沼の上)、下村 義宏(幸町7)、遊佐慎太郎(花園町3)、藤田 里美(南が丘町1)
橘 郁子(南が丘町5)、上野 暉(落石町3)、中原 光子(落石町3)、西本 征幸(本町1)、
片岡 一道(南が丘町2)

◆紋別市教育委員会委員の任命同意

本市教育委員会委員であります小林正男氏の任期が本年12月24日をもって満了となることに伴い、後任の教育委員会委員として同氏が任命同意されました。

◆人権擁護委員候補者の推薦

本市人権擁護委員であります前川裕子氏の任期が平成23年3月31日をもって満了となることに伴い、後任の人権擁護委員候補者として同氏を推薦することについて可と答申されました。

◆広域紋別病院企業団議会議員選挙

広域紋別病院企業団議会議員として次の6名が当選されました。当選者は次のとおりです。

山中 憲一・石田 久就・柴田 央・森本 秋嘉・宮川 正己・野村 淳一(※紋別市議会選出分)

□意見書

次の3件が原案可決されました。

◎T P P交渉への参加を行わないよう求める意見書

◎切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書

◎地方経済の活性化策を求める意見書